

2024年10月20日 聖霊降臨後第二十二主日礼拝説教
「苦しみの杯と洗礼」(マルコ10章35～45節)

○マルコ10章35～38節について

「栄光をお受けになるとき、わたしどもの一人をあなたの右に、もう一人を左に座らせてください。」(37節)

三度、神の子イエスが、〈死と復活〉について語られた後、ヤコブとヨハネは、ひとつの願いをもって御許へ来た。

☞彼らの願いに、死へ向かうキリストを気に掛ける思いはなく、他の弟子よりも偉くなりたいと望むものであった。

「あなたがたは、自分が何を願っているか、分かっていない。」(38節)

☆ヤコブたちは、キリストの輝かしい御姿を求めていたので、これから惨めな姿で死なれることなど、思いもしなかった。

※わたしたちが、光を受ける前にも、多くのものを手放し、十字架の赦しだけに向かう道を、必ず通ることになる。

今日のみことば：マルコ10章39節

「イエスは言われた。『確かに、あなたがたはわたしが飲む杯を飲み、わたしが受ける洗礼を受けることになる。』」

神の子イエスは、死に至るまで、苦しみの杯を飲んで、心の底まで痛みを味わい、苦しみの洗礼をとおして、命も体も神の怒りに浸けられ、十字架の上で、すべてを献げられた。

「この杯を わたしから取りのけてください。しかし、わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われますように。」(マルコ14章36節)

問：なぜ、救い主イエスが、こんなことを叫ぶのか？

「しかし、わたしには受けねばならない洗礼がある。それが終わるまで、わたしはどんなに苦しむことだろう。」(ルカ12章50節)

★十字架の上で、裁きと憤りの波に沈められたキリストの極みに達した苦しみは、あなたのために受けられたもの。

問：あなたが飲む杯、受ける洗礼とは、なんなのか？